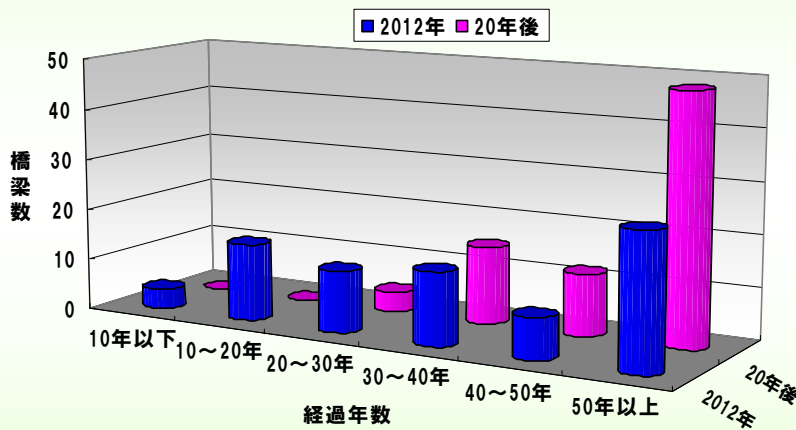


和泉市橋梁長寿命化修繕計画

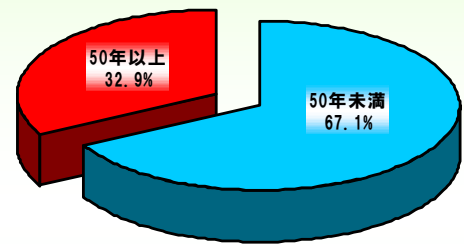
1. 背景・目的

- 和泉市は、市道を管理しています。その市道にある主な橋梁は、20年後には半分以上が50年以上経過する高齢化橋梁になります。50年以上経過すると、様々な問題が生じると言われています。
- 高齢化橋梁の増加に伴い、安全性や信頼性を確保するためには、橋梁の補修や架替えに要する費用の増加が見込まれます。

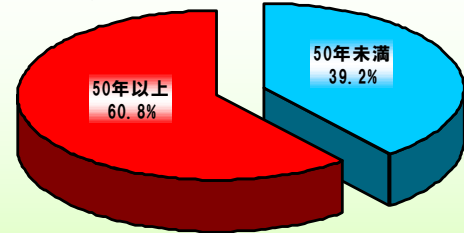


●平成24年度計画策定橋梁
橋齢分布

2012年



20年後



●高齢化橋梁の分布の推移

- このような背景から、合理的・効率的な維持管理を行うことにより、コスト縮減に取り組むことが不可欠です。
- そこで、和泉市では、平成23年度から長寿命化修繕計画策定に向けた検討に着手しました。

2. 橋梁の現状（点検結果）

- 橋梁長寿命化修繕計画をつくるために、平成23年に橋梁点検を行い、現状を把握しました。

橋梁点検では、鉄筋の腐食や鋼橋塗装表面の錆などを調べることで、橋梁の損傷具合の程度をつかむことができます。

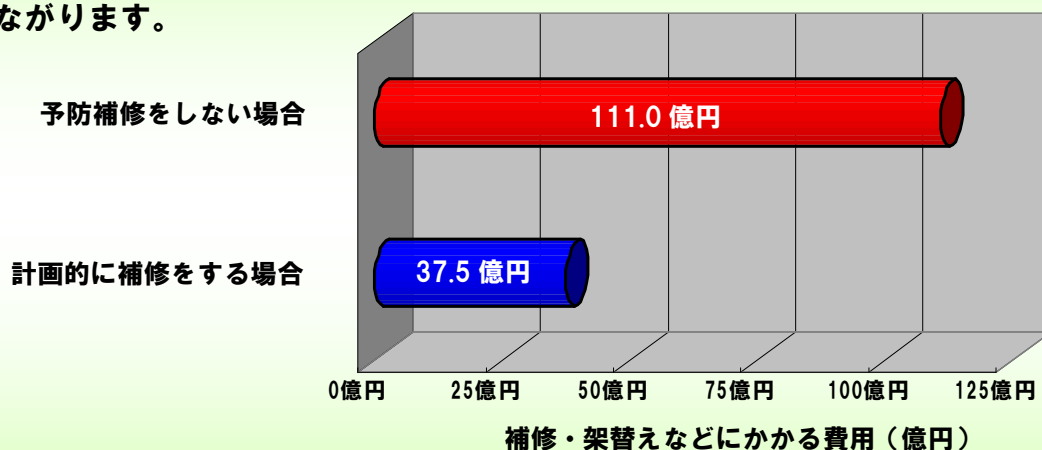


3. 維持管理における基本的な方針

- 橋梁の安全性と信頼性を確保するため、5年ごとを目処に定期点検を実施し、橋梁の健全度を継続的に把握します。
- 日常的に、パトロールや清掃を行うことで、橋梁の環境を良好に整えます。
- 予防的な補修を計画的に行うことで、補修費用の低減を図るとともに、健全な状態を長期にわたり維持します。この予防補修の計画を「橋梁長寿命化修繕計画」と言い、平成24年度には79橋について計画を作りました。

4. 長寿命化修繕計画策定による効果

- 長寿命化修繕計画に基づいて、計画的に補修を行うことで、予防補修をしない場合^{※1}に比べて、今後50年間で73.5億円の費用が低減できます。また、橋梁の寿命を延ばすことにもつながります。



※1 予防補修をしない場合

予防補修をしない場合とは、橋梁点検や補修をいっさい行わず、放置したままで、一定期間(寿命)に達した時に架け替えた場合を想定しています。

5. 学識経験者への意見照会

この計画は、橋梁の専門家として、大阪市立大学工学部 山口 隆司 教授 にご意見をいただいております。

6. 計画策定担当部署

和泉市 都市デザイン部 土木維持管理室

TEL : 0725-99-8146